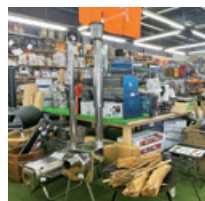
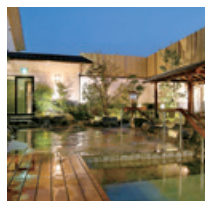




FINANCIAL REPORT 2023

## 第77期株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで



証券コード：8225

# 株主の皆様へ

To Our Shareholders

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ、第77期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）における事業の概況と決算をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2022年度の当業界をとりまく経営環境は、新型コロナウイルスの影響が限定的となり、政府による観光支援もある中、各地の観光客も回復し観光市場も回復傾向となりました。長野市においては7年ぶりとなる善光寺御開帳が開催されるなど各地でのイベントも再開され、市場を取り巻く環境は落ち着きつつあります。

一方で人口減少やコロナ禍での退職者増加に伴う労働力不足、原材料不足や資源価格の高騰、実質所得の伸び悩みと節約志向の継続など、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループは経営の基本方針として、レジャー産業を基軸にした総合商社として常に環境の変化に対応し、新たな需要の創造と機能性の向上を目指すとともに、事業を通じ生活文化の向上に貢献し、日々新たなる挑戦により企業文化の創造と育成を図ってまいりました。

昨今の労働力が不足する中においては、納品体制や組織体制を見直し業務の効率化と生産性の向上に努めるとともに、一部事業の整理、店舗の閉鎖等事業全体の見直しを実施し収益の確保に努めてまいりました。また、商品構成や商品価格の見直しを行うことで回復する市場への対応を進めるとともに、増

加する外国人観光客への対応として多言語での商品紹介サイトを開設し外国人観光客が買い物をしやすい環境作りに努め、新たな需要獲得に努めてまいりました。

その結果、第77期における当社グループの経営状況は、売上においてはコロナ禍前の水準には届かないものの、事業構造改革によるコスト削減や商品見直しの効果により大幅な増益となり、前期と比較しても売上、利益とも大幅に改善されました。

第78期におきましては、労働力不足や原材料不足、実質所得の減少に伴う経済活動の減退により引き続き不透明な状況が続くものと思われませんが、限られた経営資源を再配分し、成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めてまいります。

また「更に上へ 人の成長と企業の成長」を年度スローガンとして、新たな取組みを積極的に行うとともに環境変化に迅速に対応し意識改革と業務改善を実行してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長

久保田一臣

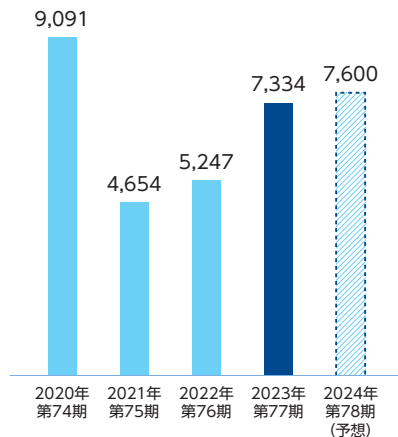


# 財務ハイライト

## Financial Highlight

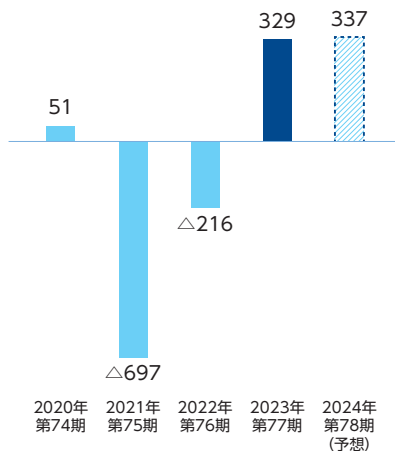
### 売上高

(単位：百万円)



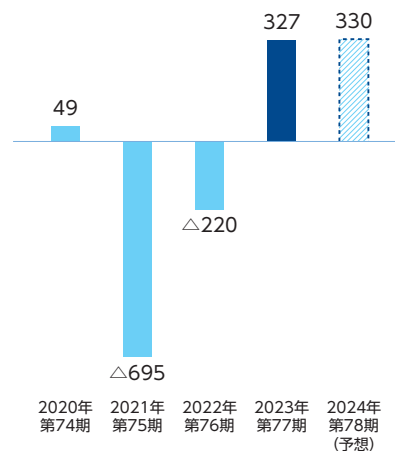
### 営業損益

(単位：百万円)



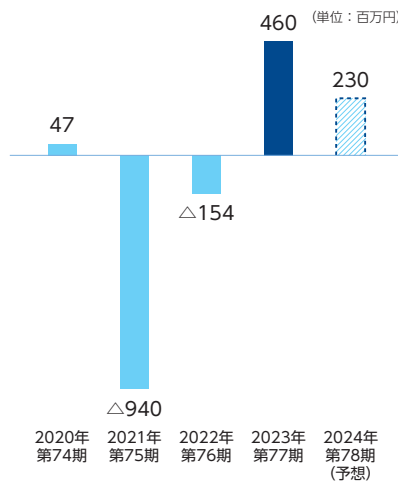
### 経常損益

(単位：百万円)



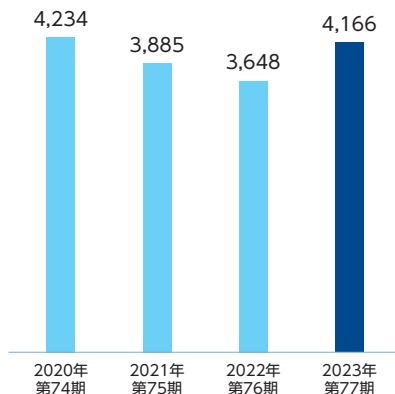
### 親会社株主に帰属する当期純損益

(単位：百万円)



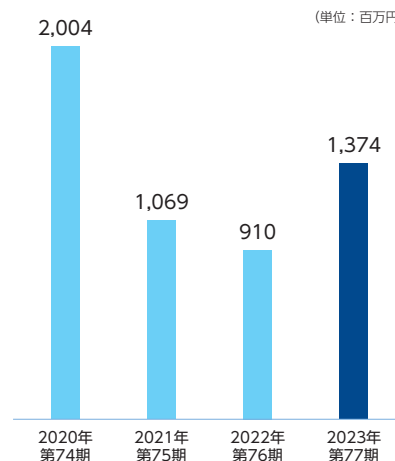
### 総資産

(単位：百万円)



### 純資産

(単位：百万円)



# 事業の概況

## Business Overview

---

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的となる中、社会経済活動の再生が進み、個人消費が回復に向かうなど景気も緩やかに持ち直しの動きが見られました。

国内においては感染拡大防止に取り組みつつも対応の見直しが進み、旅行支援策の継続や海外からの入国制限等の撤廃・緩和により外国人旅行者も増加傾向にあります。しかしながら、資源価格の上昇による原材料価格の高騰や物価上昇による影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中で当社グループといたしましては、市場や顧客ニーズの変化を的確に把握し、機会を捉えた商品供給による販売強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,334百万円（前期比39.8%増）、営業利益は329百万円（前期は216百万円の営業損失）、経常利益は327百万円（前期は220百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は460百万円（前期は154百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）と

なりました。

当社グループはレジャー産業を基軸とした総合商社として、戦略的な顧客管理と戦略商品の企画開発による市場シェアの拡大を図るとともに、安定顧客の維持及び新規顧客・店舗の開拓と発掘を実践するため成長分野、高収益部門への積極的な経営資源の投入を進めます。

営業施策といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた観光みやげ品事業での更なる回復を目指すとともに、有望市場への新規開拓を推進し、新規顧客開拓、新規出店戦略による売上確保を進めます。

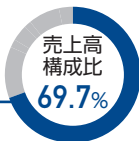
また、販売・サービス部門におきましては地域一番店を目指し、地域ユーザーに密着したイベントの情報発信・開催等を行い、接客・サービスの向上による安定顧客の維持及び新規客層の発掘を行います。

# 事業別の概況

Segment View

## みやげ卸売 事業

5,114百万円



みやげ卸売事業は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や各種政策等により社会経済活動の再生が進み、国内観光客の回復、また各自治体における旅行支援策が継続されたことにより受注も増加し、売上高は5,114百万円（前期比54.6%増）となり、営業利益は351百万円（前期は52百万円の営業損失）となりました。

## みやげ小売 事業

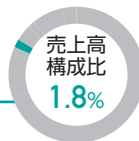
891百万円



みやげ小売事業は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和や各種政策等により社会経済活動の再生が進み、国内観光客の回復、旅行支援策が継続されクーポン利用も浸透したことに加え、店舗を構える長野市内にて開催された善光寺御開帳の効果もあり、売上高は891百万円（前期比91.8%増）となり、営業利益は77百万円（前期は62百万円の営業損失）となりました。

## みやげ製造 事業

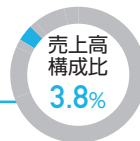
131百万円



みやげ製造事業は、国内観光客の回復、旅行支援策の継続等により受注が増加し、売上高は131百万円（前期比62.8%増）となりましたが、商品規格の変更等に伴う資材廃棄等が増加したこともあり、営業損失は16百万円の営業損失（前期は64百万円の営業損失）となりました。

## 温浴施設 事業

276百万円



温浴施設事業は、資源価格高騰による運営費増加から前年度に続き価格改定を行いました。コロナ禍の自粛生活を癒すリラククス効果と全国的なサウナブームの流れもあり利用者数は維持でき、売上高は276百万円（前期比15.9%増）となり、営業利益は29百万円（前期比7.2%増）となりました。

## 不動産賃貸 事業

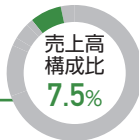
125百万円



不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。このうち前年度下期から自社運営していた一部区画を賃貸に変更したことにより、賃料収入は125百万円（前期比2.0%増）となりましたが、営業利益は44百万円（前期比0.2%減）となりました。

## アウトドア 用品事業

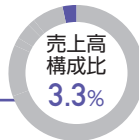
552百万円



アウトドア用品事業は、コロナ禍を背景としたアウトドアブームは継続しているものの、商品需要の一巡と競合店の進出や一部販売商品の供給遅れ等の影響により、売上高は552百万円（前期比20.4%減）となり、営業利益は33百万円（前期比63.1%減）となりました。

## その他事業

242百万円



その他事業は、ギフト店、保険代理店、飲食店の運営が含まれます。飲食店においては新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和と、長野市における善光寺御開帳の開催により来店客数が増加しましたが、保険代理店等ノンコア事業の見直しを進めた結果、売上高は242百万円（前期比28.2%減）となり、営業利益は29百万円（前期は7百万円の営業損失）となりました。

# 財務諸表

Financial Statements

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当 期 2023年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>2,026,622</b>
現金及び預金	913,524
受取手形及び売掛金	651,018
商品及び製品	391,593
原材料及び貯蔵品	41,100
その他	30,442
貸倒引当金	△ 1,056
<b>固定資産</b>	<b>2,140,090</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,586,469</b>
建物及び構築物	598,066
機械装置及び運搬具	39,372
工具器具備品	46,209
土地	902,820
<b>無形固定資産</b>	<b>112,131</b>
ソフトウェア	12,188
その他	99,943
<b>投資その他の資産</b>	<b>441,488</b>
投資有価証券	49,075
敷金及び保証金	116,349
繰延税金資産	234,349
その他	53,232
貸倒引当金	△ 11,518
<b>資産合計</b>	<b>4,166,713</b>

科 目	当 期 2023年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>	
<b>流動負債</b>	<b>1,156,790</b>
支払手形及び買掛金	405,370
1年以内返済予定長期借入金	356,397
賞与引当金	45,963
契約負債	13,632
未払金	49,960
未払費用	58,435
未払法人税等	78,896
その他	148,134
<b>固定負債</b>	<b>1,635,782</b>
長期借入金	1,312,505
資産除去債務	94,807
長期預り保証金	214,820
その他	13,650
<b>負債合計</b>	<b>2,792,573</b>
<b>(純資産の部)</b>	
<b>株主資本</b>	<b>1,369,858</b>
資本金	1,000,000
資本剰余金	701,711
利益剰余金	△ 152,711
自己株式	△ 179,140
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>4,281</b>
その他有価証券評価差額金	4,281
<b>純資産合計</b>	<b>1,374,140</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,166,713</b>

## 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>7,334,334</b>
<b>売上原価</b>	<b>5,254,078</b>
売上総利益	2,080,255
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>1,751,079</b>
<b>営業利益</b>	<b>329,176</b>
<b>営業外収益</b>	<b>11,217</b>
受取利息及び配当金	676
受取事務手数料	1,276
受取手数料	6,099
その他	3,165
<b>営業外費用</b>	<b>12,682</b>
支払利息	10,851
その他	1,831
<b>経常利益</b>	<b>327,710</b>
<b>特別利益</b>	<b>49,776</b>
事業譲渡益	2,750
助成金収入	47,026
<b>特別損失</b>	<b>405</b>
固定資産除却損	405
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>377,081</b>
法人税、住民税及び事業税	68,015
法人税等調整額	△ 151,199
<b>当期純利益</b>	<b>460,265</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>460,265</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>392,092</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 44,997</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 178,163</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>168,932</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>733,592</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>902,524</b>

## 連結株主資本等変動計算書 当期 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
<b>2022年4月1日期首残高</b>	1,000,000	701,711	△ 612,977	△ 179,114	909,619	582	582	910,201
<b>連結会計年度中の変動額</b>								
親会社株主に帰属する当期純利益			460,265		460,265			460,265
自己株式の取得				△ 26	△ 26			△ 26
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額 (純額)						3,698	3,698	3,698
<b>連結会計年度中の変動額合計</b>	—	—	460,265	△ 26	460,239	3,698	3,698	463,938
<b>2023年3月31日期末残高</b>	1,000,000	701,711	△ 152,711	△ 179,140	1,369,858	4,281	4,281	1,374,140

# トピックス

Topics

## 環境配慮に向けた新たな取り組み

### アップサイクルビール『信都ご縁エール』の発売

タカチホでは自社製造ウエハースの端材を使用したアップサイクルビール『信都ご縁エール』2種を発売しました。みやげ品の製造工程で発生する端材はチョコレートが入っているために飼料としての二次利用には不向きですが、ビール製造ではウエハースの原料である炭水化物を含む食材のアップサイクルに適している点に着目し企画した商品です。

長野市が運営する産学官金の連携組織NAGANOスマートシティコミッションNASCとの協働によるプロジェクトであり、当社は端材の提供と販売を行っています。今回の企画がフードロスについて考えるきっかけとなればという思いが込められています。



製造工程で出る端材

PALEALE WAFER  
アルコール分 5.5%  
ほんのり甘くて旨味控えめの軽やかな味わい

ALT WAFER  
アルコール分 5%  
やさしい甘さとコクの奥深い味わい

330ml 各 880円

信都ご縁 エール クラフト ウエハース

長野市の社畜ウエハースの端材を生まれ変わったクラフトビール『信都ご縁エール』は、本業ビール製造で使用する原料の実に10%をウエハースで代用、フードロスに替舞した、環境にやさしいクラフトビールです。

つかう責任をすべての人で

お酒

商品紹介ポスター



ペールエールウエハースとアルトウエハース



## インバウンド回復を見据えた新たな取り組み

### WEBSITE 「Japanese OMIYAGE Guide」を開設

訪日外国人旅行者への商品紹介サービスとして、おみやげ品を英語・中国語で紹介する「Japanese OMIYAGE Guide」を開設しました。

これまでの店頭POPでは紹介しきれなかった情報をQRコードを読み込むことにより紹介ページへ繋がります。サイトではお菓子の断面写真を使った画像や原材料名、アレルギー関連の表示等を各言語にて商品ごとに紹介。訪日外国人旅行者の方々がその場でどのような商品か分かる情報をまとめています。

日本を訪れた外国人の皆様にも「おみやげ」を選ぶ楽しさを体験いただくきっかけとなればという思いで、販売先様のご意見を伺いながら、掲載する商品を増やしております。



店頭の商品まわりに設置した【商品ページURLのQRコード】や【商品パッケージに印刷したQRコード】をスマートフォンなどで読み取ると、英語・中国語で「Japanese OMIYAGE Guide」各商品ページを閲覧いただけます。

# 株式の状況

## Stock Information

(2023年3月31日現在)

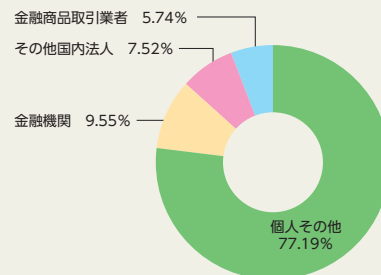
発行可能株式総数	1,600,000株
発行済株式の総数	727,500株
株主数	1,283名

### 大株主

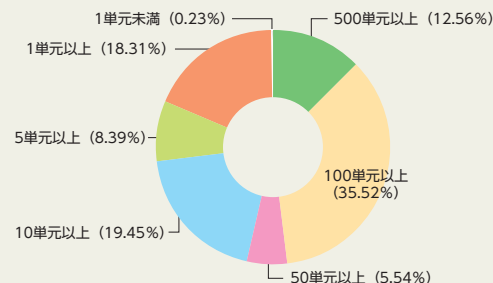
株主名	持株数	持株比率
久保田 一 臣	42,554 <sup>株</sup>	6.68 <sup>%</sup>
株式会社八十二銀行	31,100	4.88
株式会社SBI証券	27,400	4.30
宮 尾 聡	25,210	3.96
久保田 優 子	24,700	3.88
長野信用金庫	24,000	3.77
奥 村 学	21,800	3.42
所 正 純	21,152	3.32
二本松 武 典	16,000	2.51
八十二キャピタル株式会社	14,500	2.27

(注) 当社は、自己株式91,370株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

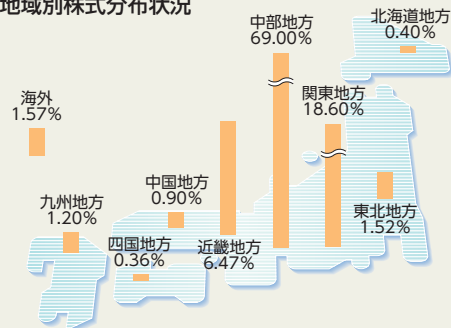
### 所有者別株式分布状況



### 所有数別株式分布状況



### 地域別株式分布状況



# 会社概要

## Corporate Data

(2023年3月31日現在)

社名	株式会社タカチホ
所在地	長野県長野市大豆島5888番地
設立年月日	昭和24年2月28日
資本金	10億円
従業員数	連結 130名 個別 128名
主な事業内容	当社の事業は、観光みやげ品の卸売事業・小売事業・製造事業、温浴施設事業、アウトドア用品事業、不動産賃貸事業及びその他の各事業で構成されております。

主要な事業所 (2023年4月1日現在)

本社	株式会社タカチホ	長野県長野市大豆島5888番地
営業所	長野営業所	長野県長野市大豆島5888番地
	松本営業所	長野県松本市野溝東一丁目2番37号
小売店	みやげ品小売店	「九九や旬粋」(長野県) など7店舗
	一般商品小売店	「バンバン高田店」(長野県) など3店舗
製造工場	「お菓子工房」	(長野県) 1施設
温浴施設	「まめじま湯ったり苑」	(長野県) 1施設
その他	「ショッピングタウンあおぞら」	(長野県) 1施設・1店舗
連結子会社	有限会社タカチホ・サービス	長野県長野市大豆島5888番地
	株式会社越後銘販	新潟県新潟市中央区大島156番地1
	株式会社札幌旬彩堂	札幌市白石区菊水元町八条三丁目5番55号
	株式会社青森銘販	青森県十和田市東三番町3番41号
	株式会社奥羽銘販	岩手県盛岡市津志田中央二丁目7番8号
	庄和堂株式会社	山形県鶴岡市文下字広野11番地1
	株式会社蔵王銘販	宮城県仙台市宮城野区萩野町一丁目13番地8号
	株式会社郡山銘販	福島県郡山市安積町荒井字大久保45番地1
	株式会社赤城銘販	群馬県沼田市久屋原町212番地5
	株式会社佐渡銘販	新潟県佐渡市上矢馳640番地
	株式会社東京旬彩堂	東京都足立区入谷一丁目12番14号
	株式会社富士銘販	静岡県御殿場市板妻字82番地67
	株式会社ひだ銘販	岐阜県高山市松本町72番地1

役員構成 (2023年6月30日現在)

代表取締役社長	久保田 一 臣
常務取締役	尾宮 宏
取締役	寺澤 和 干
取締役	寺島 博 芳
社外取締役	湯山 田 子
社外取締役	山田 曉 正
社外取締役	所滝 純 亮
社外取締役	澤 正 亮
社外取締役	目黒 匡 匡

社長以下4名の取締役は執行役員を兼務いたします。



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://kk-takachiho.jp/">https://kk-takachiho.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社 **タカチホ**  
本社：長野市大豆島5888番地 〒381-0022  
TEL (026) 221-6677 FAX (026) 221-1346  
URL：<https://kk-takachiho.jp/>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

## ホームページのご案内

インターネットのホームページにて、決算短信などの企業情報のご提供、営業活動のご紹介、オンラインショッピングによる商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://kk-takachiho.jp/>

## オンラインショッピングのご案内

インターネットのオンラインショッピングページにて商品の販売をいたしております。

アドレスは <https://www.u-mai.jp/>



QRコードからもご覧いただけます。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

## おみやげガイドのご案内

インバウンド対応として英語と中国語で味やアレルゲン等の商品説明を行っております。

アドレスは <https://souvenir-jp.net/>